

# 第4章 生涯学習

## 第1節 概要

いつでもだれでもどこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される社会、すなわち生涯学習社会を目指し、全庁的に生涯学習の推進を図った。

生涯学習審議会は第5期に入り、長期総合教育計画や、次年度からの県民カレッジ整備事業について検討を行った。また生涯学習推進本部において、生涯学習関連事業から連携強化推進事業を選定し、各課間の連携に努めた。

また、生涯学習情報提供については、「ふくしまナビネット」の利用拡大に努めたほか、広報紙「生涯学習ふくしま」を発行し、生涯学習の啓発に努めた。

さらに、「生涯学習ボランティア」の活動を推進するため、ボランティアコーディネーター養成講座、ボランティア活動指導者研究大会を開催した。

## 第2節 生涯学習の推進体制

### 1 福島県生涯学習審議会の開催

「付属機関等」に記載のとおり。

### 2 福島県生涯学習推進本部（本部長：副知事）

- ・本部会議の開催：平成12年6月5日(月)
- ・生涯学習関連事業連携強化推進事業14件を選定

## 第3節 生涯学習情報提供及び啓発

### 1 生涯学習情報提供システム（ふくしまナビネット）の整備

平成12年1月5日のリニューアル（インターネット化）以来、利用が飛躍的に伸びている。

#### (1) アクセス件数の推移

- ・平成10年度 1,114件
- ・平成11年度 6,829件
- ・平成12年度 21,027件（月平均約1,752件）

#### (2) 提供する情報

- ・施設 ・講座 ・イベント ・サークル
- ・視聴覚教材 ・指導者 ・問い合わせ先
- ・民間団体 ・資格

#### (3) その他の機能

- ・展覧会 ・地域紹介 ・アンケート
- ・質問箱 ・他ホームページとのリンク

#### (4) システム操作研修会の開催

##### ① 目的

生涯学習情報提供システム（ふくしまナビネット

ト）の操作とともに、時代の変化に伴う情報提供のあり方を研修し、人々の学習要求に応えることのできる人材を育成する。

##### ② 対象

市町村教育委員会の学習相談及び情報提供システム担当者

##### ③ 内容

- ・1日目（初級）  
生涯学習情報提供の基本システムの概要  
インターネットについて  
システムの基本操作（起動、閲覧）
- ・2日目（中級）  
プレゼンテーションの基本技法  
システムの操作（登録、付加機能）

##### ④ 期日及び場所

- ・平成12年6月13日(火)～14日(水)  
伊達町ふれあいセンター  
受講者数 初級26名 中級12名
- ・平成12年6月15日(木)～16日(金)  
サンフレッシュ郡山  
受講者数 初級28名 中級27名
- ・平成12年6月19日(月)～20日(火)  
会津本郷町公民館  
受講者数 初級28名 中級21名
- ・平成12年6月21日(木)～22日(木)  
いわき市四倉公民館  
受講者数 初級17名 中級21名

## 2 生涯学習関連事業の情報提供

- ・県各課・所・館の実施する生涯学習関連事業の情報を提供する。
- ・年3回、ふくしまナビネットにより提供するとともに、各回1万部を印刷し市町村、公民館、関係機関などに配付した。

## 3 広報紙「生涯学習ふくしま」の発行

- ・発行回数 3回（各1万部）
- ・配付先 市町村、市町村教育委員会、公民館、図書館、関係機関・団体など

## 4 学習相談

- ・学習相談員の設置 1名（生涯学習課内）

## 5 「ふくしま、フレッシュ・ふれあいデー」の普及

- ・子どもたちの豊かな人間形成と生涯学習の推進を目的として、福島県生涯学習推進本部が提唱している「ふくしま、フレッシュ・ふれあいデー」（3Fデー、毎月第2土曜日）の定着を目指し、機会をとらえて広報